

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルホームセンター	階数	地上3F
建設地	兵庫県川西市火打1丁目120の一部	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・防火指定なし(法22)	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月	評価の実施日	2018年10月12日
敷地面積	10,400 m ²	作成者	株式会社 悠設計
建築面積	5,566 m ²	確認日	2018年10月12日
延床面積	10,528 m ²	確認者	宮本 裕也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 道路に面する壁面は出来るだけ後退させた位置に配置し、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画とした。また、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮しました。		その他 特に有りません。
Q1 室内環境 天井高さを4.5m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。また、壁・天井の仕上材等に関してF☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑える様に配慮しました。	Q2 サービス性能 店内はバリアフリー仕様とし、廊下・階段等の幅を大きくとり、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 計画敷地内には多くの植栽を計画し、周囲の環境に配慮し、良環境の創設・維持に努めます。
LR1 エネルギー 照明機器はLED機器を採用し、空調機器に関してはCOPの高い機器を採用しました。	LR2 資源・マテリアル 特に有りません。	LR3 敷地外環境 空調機器はノンフロン冷媒を採用し、排熱に関して直接道路に排出しない様に配慮しました。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される